



ぼらんていあ通信

8月号
通巻 No.441

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2018年8月21日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamiva.info/

ボランティア活動へ第一歩

二〇一八年度ボランティア養成講座最終回

養成基礎講座 第三回

七月二十日(土) 十三時半～

あじさい会館六階第一展示室

テーマ「私とボランティア活動」

各コースの活動を知る

初めに秋から始まるコース別講座の内容
容と活動について説明があり、その後、パ
ネルディスカッションで実際に活動して
いる人たちから現場の生の声を伺った。

パネラーの方たちは

・ 外出援助…郡司さん (わきの会)

・ 福祉車両の運転・介助…加藤さん (相模
原ボランティア協会)

・ 高齢者支援…菅原さん (シルバー友の会)

・ 拡大写本…小泉さん (相模原市拡大写本
赤十字奉仕団)

・ 音訳…河合さん (相模原市録音奉仕会)

ばい)

小川さんの司会で、一問一答形式で進め
られた。「何を回年やっていますか」とい
う具体的な問いかけから始まり、昨年受講し
て活動を始め、一年足らずの人から十年
続けている人まで、始めた動機も年齢も十
人十色。「活動をしていて大変だと思っ
た」と楽しかったとしゃべりかけた。

「この問いには大変なことは視覚障害者に
文字情報を伝えるためには漢字の細かい
違い(拡大写本)や言葉のアクセント(音
訳)。
最初は相手との接し方に緊張したが自
然体でよいと思えるようになった。利用者
さんのありがたさの言葉に元気をもらっ
た。弱視児童から手書きの教科書は読みや
すいと言われたとき。会の仲間からもた
くさんのことをおそわった、支えられたなど
活動してよかった経験が次々と話された。

小川さんからは「ボランティアは出来る
ときに出来ることを少しだけ無理をして
やるのが長続きするコツですね。但し約束
したことは守りましょう。利用者さんとの
信頼関係はとても大事です」と結ばれた。
その後五コースに分かれて講座の詳し
い内容や活動について質問をつけた。受講
生の皆さん、自分のやりたい活動に向けて
スタートされると思います。(受講生
十九名) (三十尾)

*今月からコース別講座もスタートしま
す。受講生の皆さん、体調に気をつけて
引き続き頑張ってくださいね。



Twitter

ぼらんていあ通信版

ツイッターコーナー

歩く楽しみ

守屋和郎

七月下旬、早朝五時に家を出て蓮の花
を見に行ってきました。今年は花も小さ
く数も少ない感じでしたがピンクの綺麗
な花が開いていました。

医師に勧められ嫌々始めたウォーキン
グですが、歩くことで何か楽しみをと思
って始めたのが花の写真を撮ることでし
た。今は春夏秋冬川べりや公園、時には
個人のお宅の庭に咲く花
を楽しむながら一日二万
歩を目標に歩いています。



お知らせ

ほかふれ実行委員会より

今年も「ほかふれあいフェスタ2018」
が十月二十日(土)に開催されます。

今年は、健康フェスタ(ウエルネスさがみは
ら)と、健康スポーツイベント(市体育館)が
同日開催です。

「ほかふれあいフェスタ2018」障
害者週間キャンペーンは十二月八日(土)です。
会員の皆さまも、ボランティアなどでの参加
をよろしくお願いいたします。

委員会紹介

ボランティア協会の大きな活動の一つであるハンディキャブ委員会に活動状況をお聞かせしました。



ハンディキャブ委員会紹介

委員長 加藤 修

ハンディキャブ委員会は、ボランティア協会の主要活動の一つであるハンディキャブ活動を円滑に進めるための組織です。福祉運送活動は様々な団体が行っていますが、当協会はドライバーをはじめとする関係者のボランティア精神が活動の原動力となっています。日頃尽力頂いている方々にこの場をお借りして御礼申し上げます。

今回は当委員会での取り組みやハンディキャブ活動の実態・課題について紹介させて頂きます。

①ハンディキャブとは

「ハンディキャブ」は障害を抱えた方を指す「ハンディキャップ」とタクシーを指す「キャブ」を組み合わせた造語となります。当協会では障害を抱えた方のタクシー代わりの移動支援活動を協会設立当初より行っております。

②当協会のハンディキャブ運送の特徴

当協会のハンディキャブ活動は、国土交通省のガイドラインに基づき関係機関の認可を受けて活動しております。相模原市内には同様の認定を受けて活動している団体が複数ありますが、当協会は他団体と比較



すると利用者の経済的負担に考慮した大変廉価な料金設定をしており、利用者および関係各所から高い評価を頂いております。

使用している車両は、車いす乗降可能な車両をあらかじめ会館と南区（相模大野）に1台ずつ配置しています。また、ボランティアが所有する車で送迎する活動も2015年8月より行っております。

③ハンディキャブ委員会の仕事

ハンディキャブ委員会では、活動に関わる諸事項の検討・関係各所との調整などを行っております。

◆具体的な活動

- ・ 運行実績集計
- ・ 登録運転者の管理
- ・ 協会所有車両の管理
- ・ 新規運転登録希望者への講習
- ・ 年々の祭りでのパレード参加
- ・ 活動を円滑にするための諸問題の洗い出し・検討・改善

④ハンディキャブ活動の課題

昨今高齢者による交通事故の報道が絶えません。当協会に登録・活動しているドライバーも高齢化が進んでおります。そのため当協会が主催しているボランティア養成講座等でハンディキャブ活動に関するコース別講座を毎年設けて募集しています。近年は参加希望者が減少しており活動に従事する方の確保が課題となっております。

また、南区で使用している車いす乗降車両の使用年数が長期になったため、日本財団へ助成申請を2017年度に行いましたが不採択となり今年度も助



成申請をしましたが、助成を受けることができない不透明であり現車両の取扱いについて検討をしております。

⑤ハンディキャブ活動への参加のお願い

前項で触れましたハンディキャブ活動者の減少に伴う登録運転者の確保が課題となっております。当委員会ではハンディキャブの運転者を大募集しております。

ハンディキャブは、利用者の運行希望に基づき協会所有車両もしくは自家用車を使用して送迎を行って頂く活動です。利用者の運行希望エリアが合う時に活動して頂くものです。他ボランティアとの兼務や月1回の活動でも問題ありません。現在活動している運転者も無理のない範囲で運転活動をしています。ハンディキャブ活動に興味がありましたら、お気軽に当協会事務局（042-759-7000）までご連絡ください。

9月の記念日は？

小倉義男

9月3日は、ホームラン記念日。1977年のこの日、読売ジャイアンツの王貞治が、後楽園球場で通算756本目のホームランを打ち、アメリカ大リーグのハンク・アーロンが持っていた記録を抜いて世界新記録を更新したことに由来。これを受けて政府は、2日後の9月5日に王さんに初の国民栄誉賞を贈ったとのことです。国民栄誉賞も、最近の羽生選手で26人目だそうです。

小倉画



ボランティア活動グループ訪問記

ボランテ
すずかけオレンジカフェ
認知症のケアを理解し、ボランティア
地域への活動を広げよう

七月二十四日(火)午前十時から星が丘公民館大会議室で開かれている「すずかけオレンジカフェ」(認知症カフェ)に参加しました。同行の勝部さんと開始二十分前に公民館ロビーで落ち合ってから大せいの方が始まりを待っていました。

黄色いエプロン姿のカフェの運営委員の方たちが机を並べたり開店準備で忙しい中、カフェの店長ゆりーなさん(宙中さん)が私たちボランティア協会の二名を暖かく迎えて下さりました。

受付の名簿は千代田、星が丘、横山、地区外に分け正の字で人数を記録。後で伺ったところ今日の参加者は六十一名。これでも少ない方だとか。多い時は百名超、平均して七十名ほどが来られるそうです。五月に二周年記念の会があり北里大学の先生から認知症の話を伺いました。初めて参加してあまりの盛況さに驚き、ぜひぼらんていあ通信で紹介したいと思いました。参加者百二十名強で席が足りなかったほがごとくでした。



左端が代表の狩野さん

すずかけオレンジカフェ運営委員会の代表狩野さんに、このカフェの成り立ちを伺いました。この事業は地域活性化交付金事業で、運営している方たちはすずかけ高齢者学級のOBで構成、OB

会は平成二十二年に結成され、毎年学級の終了時に新規学級生の半数くらいが入会し、現在八十三名の会員がいるそうです。カフェには毎回十名ほどが当番で担当。OB会は公民館まつりで手芸品を展示するなど多彩な活動をしています。

星が丘高齢者支援センターの方たちも毎回認知症の理解を深めるクイズや認知症予防の体操を教えて下さり、個別の相談にものっけてくれます。

毎月第四火曜日開催し、参加費百円でコーヒーとお菓子がいただけます。お茶の他に毎回趣向をこらした企画があり、今回は後ろのテーブルで星のストラップを作っていました。広告の紙をテープ



星のストラップ作成中



恒例の体操を元気よく!

女性は常連さんらしく体操もしっかりなさっていました。風近くに終了。会場を見渡すと女性の方が多かったです。次回八月二十八日(火)午前十時から十一時四十五分まで。相模原警察の方から消費者被害等について「防犯講話」を予定しているそうです。ボラ通を読まれた皆様も参加されてはいかがでしょうか。(勝部・三十尾)

すずかけオレンジカフェ運営委員会
代表 狩野広美
場所 星が丘公民館大会議室
日時 毎月第四火曜日
午前十時～十一時四十五分
費用 百円(コーヒーとお菓子)
お問い合わせ
星が丘高齢者支援センター
電話 041-758-7719

あら、ほらって

夜の照明で早まる恋の季節

春、明け方や夕暮れ時に鳥が鳴くのは、交尾の相手を誘ったり、縄張りを主張したりするためだ。鳥は昼間の長さから鳴き始める時期を知るが、照明で夜空が明るいと、鳥の季節的なリズムが乱される。ドイツの化学者たちが六種類の鳴禽類を調べたところ、夜間の照明が原因で四種類が鳴き始める時期を早めていたことがわかったのだ。



*出典 ナショナル シオグラフィック

2018年10月号

ぼらんていあ♡ぼらんていあ(13)
相模原市三曲協会

私は相模原市三曲協会の会長をしている高松胞山(本名 良貞)と申します。

三曲協会とは箏(こと)、三絃(三味線)、尺八音楽を総称したもので、日本の各地域に数多く有り演奏活動等が行われています。

相模原市三曲協会は創設三十年目で本年三月、あじさい会館ホールで三十周年記念演奏会を盛大に実施しました。

十社中四十五名の会員があり、三月の定期演奏会、十一月の市民文化祭邦楽演奏会、隔年の七月文化協会祭での発表会を行っています。

依頼による公演として、小学校、公民館、自治会館、老人ホーム等では一年に十回程行っています。

老人ホームでは箏と尺八に合わせて童謡や唱歌を皆で歌うコーナーがあり、参加者から好評です。

普及活動として三曲の楽器をやりた

い方には体験教室を実施したり、お近くの教室を紹介する事をやっています。

三曲のそれぞれの楽譜は五線譜と違って独特の記述がされているので、音楽オンチとされている方でも取組みやすいし、技量に合わせた個人レッスンで丁寧に指導しています。

尺八は男性がやるものというイメージですが、芸大の尺八学科は女性が多い様で、活躍している女性のプロが多くなっています。

人生百年時代とも言われる中、生涯の趣味を持って充実した日々を送りたいと思っている方は迷わず相談してください。勤めを辞めた後、七十歳を過ぎてから尺八を始めた方が数年で舞台での演奏を出来る様になった人が居ます、やって見たい方お気軽に申して下さい。



H28年8月 グリーンホールで 文化の祭典(ボレロ)

＜年間の主要公演実績(計画)＞

- 相模原市三曲協会 定期演奏会
3月上旬 あじさい会館
- 相模原市文化協会 文化の祭典
9月中旬(隔年) 市民会館
- 依頼による公演
随時 依頼場所で演奏
- ①老人ホーム 年間8件程
- ②公民館や自治会館 年間2件程
- ③小学校 年間1件程
- 市民文化祭 邦楽演奏会
11月中旬 あじさい会館



小学校のサマースクール

問い合わせ先; 相模原市三曲協会事務局 ^{たかまつ}高松 ^{ほうざん}胞山 042-773-6671

理事会報告

八月一日(水) 十二時半から(理事五名出席)

一. 報告事項

◆ 広報
理事のつぶやきの執筆者を決めた。
ホームページ、トピックスと協会の公告を更新。
わくわく印刷を台風の為一週間延期し四日発行。

◆ ハンディキャブ委員会
運転ボラの増員対策と定年制を継続検討。
◆ 事務局委員会
ぼらんていあの記事 原稿 発送の事務局の関りを確認。
寄付金等、礼状を送付する金額を確認。

◆ 総合企画委員会
若手会員との話し合いを四日に実施。
◆ 講座検討委員会
基礎講座の受講者数が昨年度より大幅減、今後の対応について検討する必要がある。

◆ 傾聴委員会
傾聴情報交換会を九月十一日に行う。
二. 審議事項

・ 現定款は運営の機動性を損ねているとの意見があり、見直しを検討。
・ 役員選出管理委員会の設置について
○ 規程確認。委員会立ち上げ迄の事務担当を小野理事とすることを決めた。

○ 八月中旬に各委員会から一名の委員を決め、九月に一回目の委員会を開く。
三. その他

・ 第三十六回市民福祉の集いにおける社会福祉功労者表彰に協会より二名が受賞の予定。
当日の手伝い(協力)は六名。

次回理事会 九月五日(水)



ほっとたいむ

ボランティア協会 9月の予定

日	時間	内容
2(日)	10時	市総合防災訓練
3(月)	14時	総合企画委員会
5(水)	13時半	定例理事会
8(土)	13時	事務局委員会
11(火)	13時半 16時	傾聴委員会 黄色いレシート キャンペーン
15(土)	10時	HC委員会
25(火)	13時	ぼら通印刷
26(水)	13時	ぼら通発送
30(日)	13時半	市民福祉の集い

問合せ先
認知症家族会 友知草の会
090・7812・5257 言整

①緑区 九月二日(日)
②中央区 九月四日(火)
③南区 九月七日(金)
市民会館四階 第五会議室
南保健福祉センター二階
情報交換ルーム
時間は何れも
午前十時半〜十二時

日時・場所
①緑区 九月二日(日)
②中央区 九月四日(火)
③南区 九月七日(金)
市民会館四階 第五会議室
緑区合同庁舎二階
高齢者交流室

平成三十年度第三回
「子どもの居場所づくりセミナー」

日時：九月二十八日(金)
午後二時〜午後四時

場所：ユニコムプラザさがみはら
セミナールーム1

申込・問い合わせ先
中央ボランティアセンター
電話042・786・6181

相模原邦楽アンサンブル
第十七回定期演奏会

日時：九月十五日(土)
十四時開演(十三時半開場)
会場：杜のホールはしもと

入場料：千円
常任指揮者

曲目
・二つの舞曲
・竹彩々
・飛騨によせる
・三つのバラード
・なつかしきあの歌
・オリエントル
・ノスタルジー

飲食から街を元気に！

最近夜の街がにぎわっているように感じない事が多くなりました。

相模原市も例外ではなく、若者からお年寄りまで町離れや外食が減ったことにより地域が衰退しているように思えます。

わが社はそのような事に対し

「飲食から街を元気に」をテーマに、

- 常に意識を持つ。
- 常にお客様に影響をあたえて帰ってもらう。
- 社員一人ひとりが意識する事で、元気なお店ができ、お客様も元気になる。

いつの日か若者からお年寄りまで千鳥足で帰路に就くようなまちになるよう日々頑張ります。



野村 勇次さん

相模原市で活躍する会社紹介

株式会社 成 匠

代表取締役 野村 勇次さん(34歳)

公益社団法人相模原青年会議所

青少年育成委員会 委員長

本社〒252-0303

南区相模大野3-3-2ポーン相模大野 南棟2階A-219

Email: info@seisho-group.co.jp

◎つけ麺中華そば 清勝丸 相模大野店
042-705-5993

◎串カツ きよたか
042-705-6758

◎勇志郎製麺

事業内容

飲食店経営(ラーメン、居酒屋)、卸業務
各種麺製造、餃子、焼豚
厨房機器販売、ラーメン屋コンサルティング

市社協事業紹介 (その5)

ボランティア協会員の皆さま、こんにちは！
相模原市では多くのボランティアの方々、自治会、地区社協、民生委員・児童委員の皆さまがそれぞれの地区で福祉活動に取り組んでいます。市と市社協も、多くの方々のご協力を得て様々な福祉事業を展開し「みんなで支え合い地域の力が育む 人にやさしいまち さがみはら」を共通のスローガンとして、地域福祉の推進に取り組んでいます。

今号は皆さんのお住まいの地区で、主体的に地域福祉事業を推進している「地区社会福祉協議会」と相模原市社協の前身である町社協の成り立ちについて、初代相模原町(市)社協会長(故)中村眞次氏の談話から紹介します。

上溝地区社協・相模原町社協の誕生

昭和二十六年に神奈川県社会福祉協議会(以下、県社協)を通じて、中央社会福祉協議会(現在の全国社会福祉協議会)から上溝を小地域社会福祉協議会(市区町村社会福祉協議会の意)実験地区に指定したとの話がありましたね。これが本市に社協が設置される契機になりました。

この年は、社会福祉事業法が公布された年で、県社協も全社協もこの年に設立されています。しかし、肝心の小地域社協は法的な根拠がないため、設立には大変な困難がありました。そこで、全社協は実験地区を指定し、そこ

での成果を全国に広めることで、小地域の育成を図ろうと考えていました。また、県社協は地域部会を中心に、「地区社協設置要綱」を作成し、組織づくりを進めていました。

こうした機運の中で昭和二十七年一月十八日『相模原町社会福祉活動関係者打合せ会』が旧上溝公民館において開催されました。この打合せ会には、全町の各団体代表者約百五十名に案内状を送り七十一名の方が参加されました。私は座長を務めました。そして、この話し合いで旧町村毎に地区社会福祉協議会を設置すること、その連合体として、町社会福祉協議会を設置することが確認されました。

これを受けて、上溝では公民館、婦人会、青年団、民生委員、小中学校、部落会、商工会等よりそれぞれ二名ずつの準備委員を選出し、設立の準備を進めました。

昭和二十七年四月二日に上溝地区社協が発足しました。当時の歳入歳出予算額は十四万七千三百七十二円で、季節保育所の開設が最も大きな事業でした。これは地区内に多かった農家の農繁期季節保育所の要望に応えた事業でした。

そのほか、児童遊園地の設置事業や「母の日」の啓発宣伝事業にも取り組みました。

これらの事業は、町民の協力があったからこそできた事業でした。私は福祉は「与えられるものではなく、参加するもの」と考えていますが、多くの町民の参加があって初めて上溝地区社協の基礎も固まっていたと考えています。

さて、その後、各地区社協の設立も順調に進み、昭和二十九年九月二十五日には、いよいよ相模原町社会福祉協議会の発足をみる事ができるわけです。

この昭和二十七年という年は、本市の社会福祉の発展の礎ともなった年だと私は思っています。

(平成元年十月二十八日発行「相模原市社会福祉大会二十回記念誌」及び平成十四年十一月発行市社協創立五十周年記念誌「社協五十年のあゆみ」より抜粋)

いかがでしたか？今号は(故)中村眞次氏の談話を紹介しましたが、次号は当時の上溝地区や相模原町の支援の様子、またその後の地区社協設立の様子等について触れたいと思います。どうぞよろしく願います。

市社協 田所

理事のついで

「おやこ」の紹介

理事 鈴木 秀美



私の所属している相模原やまびこ会は自閉症や発達障がいの子どもを持つ親たちの会です。おやこは、一般市民の方々に自閉症を理解していただくための講演会、研修会等の啓発活動、子ども達の健全な発達を促進するためにボランティア養成も目指すサマーキャンプ、各種の勉強会、会員相互の親睦を深める研修旅行等々幅広い活動を展開しています。その活動の中心はおやこの会があります。参加資格は会の名称からはおおらかなので、自閉症に関わりを持つ男性であれば、ご家族でも参加できます。実際、参加者はまひこ会の会員である父親(地域別では相模原のみならず横浜、川崎、大和、厚木、藤沢等かなり広い地域から参加しています)、福祉施設の職員や学校の先生等ボランティアと言っています。会場は交通の便が良い田田市の居酒屋にて3ヶ月ご一回程度の頻度で開催しています。

参加者は、それぞれの近況やその時々興味のある話題を酒の肴として、アルコールの効能により、素直に気持ちをリラックスした雰囲気でも話も弾みます。ただ、おやこの会には「一言タイム」なるルールがあり、参加者全員が自分なり、子どもの近況を自閉症との関わりの中で報告する必要があります。

施設の職員としては自閉症者の療育の動向も、療育に従事する者としての心構えや熱意を披瀝するようであり、頼もしく気持ちいなるものです。

行政の職員さんからは、障がい当事者、保護者や行政職員の相互理解、連携が重要であるとの示唆を受けました。

学齢期の子どもを持つ父親からは、学校生活や育児に関する質問が出られることがありま

す。

それに対し、成人期の子どもを持つ父親から、自分たちの経験に裏打ちされた適切なヒントが与えられたりします。

また施設職員や学校の先生からは日々自閉症の子ども達に接している経験・知識を活かしたアドバイスをいただけた。

これらの貴重なヒント、アドバイスに元氣付けられて帰って行く父親がいれば、おやこの会の参加者として、これっと思えます。

自閉症に関わりのある男性が酒を呑みながら、楽しく率直に語り合う場がおやこの会です。新規の参加者も大歓迎です。

興味のある方はぜひ参加してみてください。



クイズ挑戦

夏の豆知識クイズです。涼しいお部屋で、楽しんでください。

①梅雨の時期に「かき氷」を作る坊主の性別は、

ア 男性 イ 女性 ウ どちらかわからず

②夏にスーパーで売っている冷や麦、その中でも冷や麦の冷やし麦は、

ア 作っている材料が違う イ 太さが違う ウ 違いはなし

③なまの原産地は、

ア 日本 イ 中国 ウ インド

④お盆になると飾る「キリウツの馬」は「先祖様が早く現世へかえってこられるように」という意味ですが、では「ナスの牛」はどんな意味があるのでしょうか。

ア) 先祖様が牛のうしろの尻尾の世に帰れますように
 イ) 先祖様が牛と一緒にあの世に帰れますように
 ウ) 先祖様が美味い牛を出して下がれますように

クイズの答え



①はウの女性。実はかき氷の坊主のモデルは女性です。

元は、中国で掃晴嬢と言われる人形といわれており、白紙で出来た女の子の体、着物を着せて小さな木ウキをつけて、軒先に吊るす習慣がありました。

②は①の太さが違う。そのめんは直径1.3㎜未満で、冷や麦は直径1.3㎜~1.7㎜未満、太さの違いだけです。

③はウのインド。シルクロードを通り中国に伝えられた、それが日本に伝わったといわれています。

④はウのナスの先祖様が牛のうしろの尻尾の世に帰れますように。



ボランティアさん募集!

こども食堂のお手伝い

- 場所 相模原市立中央公民館（相模原市中央区富士見 2-13-1）
 日時 第1・3木曜
 午後4時30分から午後8時まで（ご都合の良い時間帯で1時間半程度から）
 内容 調理・準備・片付け・荷物の運搬など
 持ち物 調理・配膳希望の場合はエプロンを持参してください

*連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター: 電話 042(786)6181



~ほかほかふれあいフェスタ2018 10月20日(土)~ ボランティアさん大募集!!

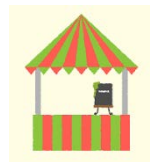
- | | | | |
|-----------------|-----|-------------|---------------------|
| ①広場のテント設営 | 10名 | 8:00~ 8:30 | ウエルネス広場 |
| ②展示室の準備 | 5名 | 8:30~10:00 | あじさい会館6階展示室 |
| ③ホールの準備、手伝い、片付け | 5名 | 8:30~15:30 | あじさい会館ホール |
| ④スタンプラリー受付 | 4名 | 9:00~16:00 | あじさい会館1階ロビー |
| ⑤総合案内 | 4名 | 9:00~15:30 | あじさい会館1階ロビー |
| ⑥ほかほかカフェ | 2名 | 8:30~15:30 | あじさい会館5階(ボランティア活動室) |
| ⑦広場のテント片づけ | 10名 | 15:30~17:00 | ウエルネス前広場 |
| ⑧展示室の片づけ | 5名 | 15:30~16:30 | あじさい会館6階展示室 |

※③ ④ ⑤ ⑥は、半日でもOKです

皆様、お手伝いよろしくお願いま〜す!

*連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042(759)7982



編集後記
 今年の夏は特別が連続。56日
 『熱中症に厳重警戒を』『生体』が
 かわる危険な暑さ』などという言葉を
 を毎日聞いた。
 七月の西日本の豪雨という異常
 気象ではないでしょうか。
 被災地では、まだまだ大変な生活
 をしている方々が多いようです。お
 見舞い申し上げます。
 (杉)



《今月のイラスト
 ……夏休みの「お金のたまり場」》